

全国都市緑化かわさきフェア（令和6年 秋）

川崎市は戦前から工業都市として京浜工場地帯の中核をなし、戦災や高度経済成長期の公害問題を経験しながらも、現在も都市として成長を続けていますが、都市化により利便性が向上する一方、里山などの原風景が減少し、市民からは「みどり」を望む声も多く上がっていました。

こうした状況の中、都市における新たな「みどり」の価値の創造と、多様な主体による「みどり」の都市づくりを目指す契機として、市議会から全国都市緑化フェアの開催に向けた声が上がリ、検討が始まりました。



議会での審議経過と市の取組

【平成 29 年 第 3 回定例会（9 月）】

質問

人口 150 万人を突破し、大都市として成長を続ける本市において、これからの都市緑化のあり方、シティプロモーションの観点から本市初の全国都市緑化フェア誘致に向けた状況について教えてください。

広報キャラクター
およん



答弁

全国都市緑化フェアは、開催地の魅力を知っていただくとともに、観光の振興や経済的な貢献にも効果が期待でき、大変有意義なものと認識していますので、開催都市への視察等を行い、事業規模や開催費用、人員体制などの情報収集を進めていきます。

全国都市緑化フェアとは…

国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、昭和 58 年から毎年、全国各地で開催されている日本最大級の花と緑の祭典です。国土交通大臣の同意を得て、開催自治体と公益財団法人都市緑化機構が主催します。全国都市緑化フェアを代表する行事として、全国都市緑化祭があり、皇室による記念植樹等が行われています。

【令和元年 第4回定例会（9月）】

質 問

全国都市緑化フェアの本市への誘致に向けた検討の現在の取組状況について教えてください。また、誘致に当たって想定される課題及び市制 100 周年を見据えた開催の可能性について教えてください。

答 弁

過去の開催都市に対し視察やヒアリングを行い、開催費用の抑制や運営体制の構築などに多くの調整を要したことを確認しました。緑化フェアの開催について、今後も継続して開催都市への視察やヒアリングを行うとともに、国などの関係機関も含め情報収集に努め、開催の可能性について検討を進めていきます。

要 望

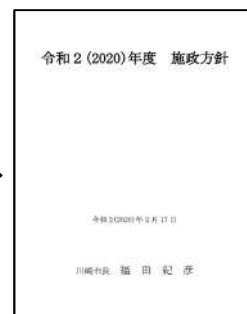
緑化フェアの開催は、100 周年記念の中核を担う事業になると考えています。引き続き、開催の可能性について検討を重ねてもらえるよう要望します。

市議会からの要望を受けて・・・

福田市長が施政方針で緑化フェアの誘致を表明しました。

令和 2 年第 1 回定例会（令和 2 年 2 月 17 日）での市長の施政方針において、全国都市緑化フェアの誘致を表明しました。

『本市のこれまでの 100 年を振り返り、次の 100 年により豊かな環境をつなげていくため、都市における新たな緑の価値の創造と、多様な主体による緑の都市づくりを目指すとともに、全国都市緑化フェアについて、市制 100 周年の節目の年となる令和 6 年度の本市開催の誘致に向けて、国との協議を進めてまいります。』



【施政方針】

【令和 2 年 第5回定例会（9月）】

質 問

本市は 4 年後の 2024 年の市制 100 周年での全国都市緑化フェアの開催に向け、本年度中に基本構想を策定することです。他都市にない川崎らしさがあふれ、独創性と継続性のあるものにすべきと思いますが、見解と取組状況を教えてください。

答 弁

開催に当たっては、緑の事業のみならず、コミュニティ、教育、環境問題、防災など、緑と連携が可能な事業を推進し、都市における緑の価値を高め、フェア終了後も継続する取組を進めていきたいと思っています。今後について、基本構想の策定を進め、国土交通大臣の開催同意を得られるよう取り組みます。



その後の取組として・・・

第 41 回全国都市緑化かわさきフェア基本構想を策定しました。

令和 2 年に設立された学識経験者や市民代表からなる「全国都市緑化かわさきフェア基本構想懇談会」の中で基本構想の策定に向けて検討が行われました。検討内容については、市民に対してパブリックコメントによる意見聴取を実施し、令和 3 年 3 月に「全国都市緑化かわさきフェア基本構想」が策定されました。

【開催に向けた基本的事項】

- 1 コンセプト Green For All !
- 2 基本的な考え方
 - ・「みどりが持つ力を、未来の川崎に向けて、みんなが暮らしの中で上手に活用する取組」を推進します。
 - ・川崎の多様な人・暮らし・みどりを結びつけることで、フェア終了後も続く「みどりのムーブメント」を推進します。
 - ・かわさきフェアのレガシーとなる地域愛を持った市民が、次の 100 年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないでいきます。
- 3 開催期間 令和 6 年
- 4 会 場 川崎の多様なみどりを知り、活かす活動を全市的に展開します。

【令和 3 年 第 4 回定例会（12 月）】

質 問

コア会場としている 3 か所の総合公園をはじめ、臨海部、商店街、河川など全市展開となりますが、花や緑を彩ることでその景観を楽しめる会場設定が求められます。会場イメージについて教えてください。

答 弁

会場イメージについて、コア会場では各総合公園の特色や資源を生かすため、生田緑地では豊かな自然と歴史、文化芸術を生かした取組、等々力緑地では多様なスポーツや豊富な緑、水とのつながりを軸とした取組、富士見公園では川崎ならではの都市緑化や先端技術を体感でき、様々なライフスタイルに対応した取組を行います。

市議会での議論を重ねているなかで・・・

2024 全国都市緑化かわさきフェアの開催が正式決定しました。

市制 100 周年の節目を迎える令和 6 年度に、全国都市緑化フェアの開催を目指して誘致に取り組んできた中、令和 4 年 1 月 17 日付けで、国土交通大臣の同意が得られたことにより、開催が正式に決定しました。

その後の取組として・・・

全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子を策定しました。

「全国都市緑化かわさきフェア」の開催が決まり、令和４年１月に「全国都市緑化かわさきフェア 基本計画骨子」が策定されました。

その中で、市議会から指摘のあった、スケジュールや会場イメージ、次の１００年に向けた将来像等について、基本計画骨子の中でフェアの全容が明らかになりました。

１ 開催期間

全国都市緑化フェアでは、全国で初めて、２期開催とすることが決まりました。

- ・秋開催 令和６年１０月中旬～１１月上旬（２０日間程度）
- ・春開催 令和７年３月上旬～３月下旬（３０日間程度）

２ 会場

川崎市内の南・中・北部それぞれに立地する総合公園をコア会場とするほか、協賛・連携会場（駅、商業施設、区役所、各地域の公園緑地等）では、市民、企業、地域団体等の多様な主体と協働・連携した取組にスポットをあて、それぞれの特色を活かした取組を市内全域で展開

[コア会場]

富士見公園



みどりとスポーツ・文化・
レクリエーションの拠点

等々力緑地



スポーツの聖地・みど
りと水の拠点

生田緑地



豊かな自然と歴史・文
化・芸術の拠点

【令和４年 第３回定例会（６月）】

質 問

市民が緑化フェアにどのように関わっていくのか教えてください。

答 弁

市民、企業、行政等の多様な主体がつながり、行動するきっかけとなる取組をフェア開催前から展開し、市民総参加型のフェアにしていきたいと考えています。

【令和4年 第5回定例会（12月）】

質 問

熊本市で行われた緑化フェアでは、コロナ禍における市民への機運醸成や認知度の向上について大変困難を極めたとのことでしたが、市民への機運醸成についての見解を伺います。また、教育部門との連携について、積極的な取組が期待されますが、検討状況を教えてください。

答 弁

フェア開催前から緑への関心を高め、緑に親しむ機会を創出するなど、市民への機運醸成や認知度の向上に向けた取組を行うことは大変重要だと認識しています。また、川崎の未来を担う子どもたちがフェアをきっかけに緑への愛着を持ち、緑を大切にする豊かな心を育む機会となるよう取組を進めていきたいと考えています。

市議会での議論を踏まえ・・・

①小学校などと連携して花苗づくりを行いました。

市立小・中・特別支援学校全170校において、子どもたち自らが小さな苗やたねダンゴから花を作り、学校内外やフェア会場、地域の公園などに届け、市内全域で花かざりを実施しました。



【各学校で花苗を育成】



【育てた苗で地域を花かざり】



【子どもたちの手で花壇に植え付けお出迎え】

②多くのフェアボランティアが運営を補助しました。

各コア会場にて、延べ1,000名のボランティアが花壇の管理、来場者へのサービス、ボランティアセンターの運営補助などを行いました。



【会場の花壇の管理】



【会場サービス（写真撮影）】



【ボランティアセンターの運営補助】

その後の取組として・・・

全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画を策定しました。

令和5年8月29日、川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会第3回総会を開催し、「全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画」が承認され、基本・実施計画に基づき、次の100年に向けて、各分野の取組と連携して、多様な主体がつながり、行動するきっかけとする市民総参加型のフェアとなるよう、取組を展開していくことになりました。



【開催期間】

【シンボルマーク】

秋：令和6年10月19日（土）～11月17日（日）（30日間）

春：令和7年3月22日（土）～4月13日（日）（23日間）

【会場計画図】



【富士見公園】



【等々力緑地】



【生田緑地】

【令和5年 まちづくり委員会（8月）】

質問

3つのコア会場の回遊性について、交通の利便性があまりよくないことから生田緑地と等々力緑地を両方訪れる人はなかなかいないと思うが、AR（拡張現実）などを活用して、各会場に回遊性を持たせるといった工夫を検討しているのでしょうか。

答 弁

デジタルスタンプラリー等を活用して会場をつないでいくといったようなことを検討しています。

市議会での議論を踏まえ・・・

かわさきみどりスタンプラリーが行われました。

フェア開催中に富士見公園会場、等々力緑地会場、生田緑地会場の3会場と、夢見ヶ崎動物公園など5つのまちなかみどりスポットが、スタンプスポットになり、スタンプラリーを開催しました。スタンプの獲得数に応じて、川崎市にゆかりがある商品や緑化フェアオリジナルネックストラップが景品として用意されました。



【パンフレット】

かわさきフェア（秋）開催概要

名 称 第41回全国都市緑化かわさきフェア
開催期間 令和6（2024）年10月19日（土）～11月17日（日）



【オープニングセレモニー】



【佳子内親王殿下による記念植樹】

富士見公園

リニューアルオープンした公園で、最先端の緑化技術や新しいみどりの価値を発信



【フラワーガーデン】



【壁面緑化】



【ナイトガーデンマーケット】

等々力緑地

体験・体感型コンテンツを織り交ぜ、ニューノーマルな屋外の楽しみ・過ごし方を提案



【ロングボーダーガーデン】



【ツリークライミング】



【つみきであそぼう！】

生田緑地

自然美がベースのみどり豊かな会場で、本物のみどりの価値を体験



【藍と霧のメタセコイア】



【竹のエントランスゲート】



【ばら苑】

かわさきフェア（春）開催概要

春の緑化フェアは令和7年3月22日から開催

全国都市緑化かわさきフェアに関する詳細について…

<https://green-for-all-kawasaki2024.jp/>



富士見公園	等々力緑地	生田緑地
ガーデンへの植え付け フェア会場をキレイな花でいっぱいにするために、花の植え付けを行いました。期間中も、会場の案内など、さまざまな形で参加しています。 	Active Garden オフサイトミーティング たくさんの人が、みどりを五感で感じることができるよう、企業・団体・学生の皆さんが参加し、アイデアを出し合いました。 	竹灯笼の制作 地域グループや地域の小学校の皆さんが、里山の管理で発生した竹を有効利用し、生田緑地会場では来場者を出迎える竹灯笼を制作しました。 
注目 メインガーデン 6万株の春の花満開！春の始まりを印象付ける「黄色」などを基調としたガーデン。夜はライトアップし、昼と夜の違った光景を楽しめます。 	注目 メインガーデン「Active Garden」 全長75mの体験・体感型ガーデン。五感を刺激する40以上の仕掛けを楽しめます。 	注目 竹のエントランスゲート 多様な生命が息づく生田緑地。緑地内の竹を使い組み上げたアーチに、地元の人が制作した竹灯笼や竹細工などを装飾し、来場者を出迎えます。 